

勢小だより

平成 31 年 2 月 20 日
勢和小学校



アンケート調査へのご協力ありがとうございました！

12 月に実施しました保護者アンケート調査の集計結果をお知らせします。
昨年度に引き続き、学校満足度に加え、保護者の方の意識調査もさせていただきました。お忙しい中、ていねいにお答えいただき、ありがとうございました。昨年度と同様、高い回収率であったことに深く感謝申し上げます。

保護者アンケート

回答 A:「満足」or「かなり」 B:「概ね満足」or「少し」 C:「やや不満」or「あまり」 D:「不満」or「まったく」

	◇保護者アンケートの結果 G1～G4: 学校満足度、H1～H4: 保護者意識、J1～J4: 家庭でのお子さんの様子	回答(人数):未記入含まず				A+Bの割合
		A	B	C	D	A+B(昨年度)
G1	勢和小学校の教育に満足していますか？	67	103	9	2	93.9%(96.9%)
G2	勢和小学校の学校行事等に満足していますか？(PTA行事も含む)	62	103	14	2	91.2%(91.1%)
G3	勢和小学校の学習指導に満足していますか？	64	107	9	2	94.0%(92.8%)
G4	勢和小学校の生活指導に満足していますか？	56	105	17	3	89.0%(91.2%)
H1	子育てをする上で悩みや不安などはありますか？	10	109	46	15	66.1%(61.5%)
H2	学校行事やPTA活動に積極的に参加していますか？	71	89	13	4	90.4%(89%)
H3	お子さんの学習の様子を把握したり、必要な支援をしたりしていますか？	43	112	24	3	85.2%(86.3%)
H4	お子さんの生活習慣を整えたり、躾を大切にしたりしていますか？	84	89	9	0	95.1%(94.7%)
J1	お子さんは毎日元気に、楽しく過ごしていると思いますか？	157	71	4	1	97.9%(96.7%)
J2	お子さんは学校行事に前向きに取り組んでいますか？	175	52	6	0	97.4%(95.4%)
J3	お子さんは学習に前向きに取り組んでいますか？	104	103	23	3	88.8%(88.3%)
J4	お子さんの生活習慣は整っていますか？	89	117	27	0	88.4%(86.7%)

【考察及び対応】

学校満足度

全体としては過半数の項目で 90%以上のよい評価をいただき、私たちにとってたいへん励みとなりました。ただ、例えば「SOCS や創造授業等、地域や専門家との協働等、子どもたちがうらやましい」と「基本的におかしいので違和感を感じる」等、保護者の方によっては対照的なご意見もあり、これは学校全体としての取り組みがまだ十分でなかったことや、趣旨を十分お伝えできていないことが要因であったと考えています。本年度は学校ホームページで年間 200 件以上の投稿・更新をしたり、各種のお便りで子どもたちの様子をお伝えしてきましたが、今後もこれらの課題を努力目標に掲げ、さらに努力していきたいと思ひます。

＜ 記述によるご意見 ＞

記述欄には、本校職員に対して多くのお褒めの言葉や感謝の言葉をいただき、職員一同（嬉しい…というよりは）ほっとしているというのが正直なところ。それだけ、どの職員も目の前の課題に対して、様々なやり方で精一杯取り組んできたつもりでも、まだ多くの課題を感じているからです。結果としては、子どもたちや保護者の皆様に十分満足いただけなかった所は少なくありません。ご要望等については、貴重なご意見として各担当で検討し、職員で共有いたしました。それぞれのお子さんにかかわるような個別のご質問ご要望につきましては、(お名前を書いていただいた方)可能な限り直接お応えするよういたします。全体にかかるものにつきましては、以下のようにお応えさせていただきますが、紙面の関係で不十分などところもあるかと思ひます。その場合は、遠慮なく学校にお問い合わせください。

○ 土曜日・休日の行事は減らして負担のないようにしていただきたい。(土曜授業を増やしてほしいという意見もあり)

土曜日の授業は、もともと平成 25 年に学校教育法施行規則が一部改正された時に、「子どもたちの成長を支えるために、土曜日に学校・家庭・地域が連携し、役割分担しながら、学校における授業や地域における多様な体験活動等の機会の充実に取り組むこと」が設置者の判断で可能となったものです。多気町では「保護者の参加や地域の方々の支援もいただきやすい日に授業を行う」「平日とは違う特色を持たせた学習をする」ことを方針に、どの小中学校でも 3 回の土曜授業を実施しています。(昨年度は 4 回)本校では土曜日の授業に「授業参観」「親子行事」「発表会」を充ててきました。「授業参観の日をもっと増やしてほしい」というご意見もありますので、他の学校行事とともに、回数と内容について毎年見直しを続けているところです。

○ **登下校時等、あいさつができない、並んで歩けない子がいる。**

ご承知の通り、徒歩通学とバス通学の両方がある関係で、登校時は2か月に1回、下校時には毎月1回の指導を行っています。旧多気町とほぼ同じ面積のすべての地域に職員が頻繁に出向いて指導することは困難です。そこで、多くのボランティアの方々にお世話になったり、地域によっては輪番で登下校の指導をしていただいたりしています。また、毎年2回の交通安全ボランティア会議を開いて、子どもたちの登下校の様子についてご意見をいただいています。学校でも、下校時は毎日、通学団ごとに運動場に集合させ必要な時は担当の先生の注意を聞き、全体であいさつをして下校させています。しかしながら、ご意見の通りすべての子どもが、きちんと挨拶をし、並んで歩けない様子が見られるのも事実です。今後も、日々の子どもたちの登下校の様子についてご意見をいただき、通学団の子どもたちへの指導や、各学年・学級での安全指導を続ける等の取り組みをしっかりとしていきたいと思ひます。

また、暑い日も寒い日も毎日、子どもたちに寄り添って見守りをいただいている交通安全ボランティアの方々に、機会があれば感謝の気持ちを伝えていただくとともに、引き続き地域での子どもたちへの見守り・ご指導をよろしくお願ひいたします。

○ **春の遠足の目的地が毎年同じなので、変えたらどうか。**

春の遠足は新入生歓迎を目的として、新しい「なかよし班」での初めての活動です。入学して間もない1年生を上級生がいたわったり、異学年同士が励まし合ったりしてコースを歩き、オリエンテーリング形式でゆりの丘のゴールを目指す活動です。6年生はリーダーとしての自覚が必要となり、その後、「なかよし班そうじ」等のなかよし班の様々な活動で中心的な役割を担っていきます。標題のようなご指摘がありますが、この遠足の主旨と、子どもたちの力で見通しをもって安心して活動できるコースとしては、現在のところ適切ではないかと考えています。来年度は、遠足の目的にかなう場所とオリエンテーリングの内容について再検討して、計画・実施していきたいと思ひます。

○ **子ども同士のトラブルと家庭への連絡について**

子ども同士で友達関係のこじれ等があった場合は、その対処や解決を最優先します。もちろんトラブルはない方がよいのですが、子どもたちは、学校生活における友達関係の様々な問題解決を通じて多くのことを学んでいるのが実際です。その場で解決できる軽微なものから、時間をかけて取り組まなければならないこともあり、必要に応じて保護者の方へ報告させていただいています。これまでも、ほとんどの場合は、保護者の方同士でも連絡を取り合っただけで、家でもお子さんに話をさせていただいてきました。また、その時のお子さんの様子も学校にお伝えいただいております。今後も、学校と家庭が連携して対応していきたいと考えています。

○ **県や県PTAから出されるメディアチェックシートの意味が感じられません。**

今回のアンケートでも「お子さんの生活習慣は…」の項目で、「寝るのが遅い」「ゲームやネットに夢中になる時間が長い」というご意見が多く寄せられています。学校では、道徳や学活の時間にメディアとの付き合い方について学習をしてきてはいますが、実際の子どもたちの家庭生活の改善になかなかつながっていかないことが気がかりです。各ご家庭のルールもありますが、「チェックシート」は、生活習慣や時間の使い方などについて振り返ったり見直したりするきっかけにさせていただけたらと思ひます。チェックシートの内容については、再度検討していきます。

児童アンケート

回答 A:よくあてはまる B:あてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない

	アンケート項目	回答(人数)				A+Bの割合
		A	B	C	D	A+B(昨年度)
1	学校は楽しいですか。	146	86	26	7	87.5%(89.5%)
2	あなたはこまった時に、先生や家族など大人の人に話していますか。	125	76	43	20	76.1%(79.6%)
3	授業はわかりやすいですか。	146	85	16	7	90.9%(86.5%)
4	人の話を、しっかりと聞くことができますか。	95	130	33	7	84.9%(81.2%)
5	人のいやなことを言ったり、したりしないように気を付けていますか。	142	95	25	3	89.4%(86.4%)
6	あなたは、いっしょけんめいできたことや、がんばったことがありますか。	180	60	18	6	90.9%(94.4%)
7	友だちが、やさしいな、がんばっているなど思うことがありますか。	199	52	11	3	94.7%(95.9%)
8	だれとでもあいさつすることができますか。	145	67	41	12	80.0%(88.7%)
9	あなたは、安全に気を付けて、きちんと並んで登下校することができますか。	147	88	24	6	88.7%(89.8%)

◎『よくあてはまる』+『あてはまる』が90%以上・・・9項目中3項目 ※数字は質問番号

※3:授業は分かりやすい 6:一所懸命できた・頑張ったことがある 7:友達はやさしい 頑張っているなど思う

●『よくあてはまる』+『あてはまる』が80%未満・・・9項目中1項目

※2:困った時に、先生や家族など大人の人に相談できる

【考察及び対応】

全体を見ると、A+Bの割合が6項目で85%以上になり、3項目が昨年より良い結果になりました。「学校は楽しい」と感じ、「友達とかかわり合いながら一所懸命頑張っている子」が多い状況です。

ただ、約3割を超える子どもたちが、「困った時に大人の人に相談できない」としており、ここ数年課題となつていきます。子どもたちは不安を言葉で伝えてくれない状況があるようです。一方、保護者の方のアンケートでは、6割を超える方が子育てに不安を持ってみえます。学校ではいつも、子どもたちの心のサインを見取るように努めていますが、それでもわからない場合もあります。ご家庭でも中・高学年にもなるとなかなか話してくれないこともあります。子どもたちの困りごとは、「勉強がわからない」というのもあるでしょうが、多くは友達関係等の「人と人との関係づくり」です。担任だけでなく、職員全員で一人ひとりの子どもとの「対話」を大切にするとともに、保護者の皆様ともお子さんの様子を共有させていただき、どの子も安心して生活できるよう、取り組んでいきたいと考えています。